

# 言葉と元気になる活字のビタミン オレンジ RANGE 新聞

FROM : 小山薫堂 (責任監修) 率いるオレンジ・アンド・パートナーズのゆかいな社員たち

第24号 2011.02.19

## 61歳でモンテカルロ・ラリーに挑戦 1枚の写真が自動車レースへの想いを決めた

今年で100周年を迎える世界最古の自動車レース「モンテカルロ・ラリー」。世界4大レースの1つとされる歴史あるレースです。この大会に日本人で最も多く参加しているのが、オレンジ新聞編集部の高齢、61歳の森川オサムです。森川は今年、この大会に再挑戦しました。彼をラリーへと駆り立てるものは…。秘められた思いを聞きました。



▲ 最終ステージでスタートを待つ

### きっかけは写真

約45年前、クルマ好きの中学生だった私は雑誌の1枚の写真に釘付けになりました。モンテカルロ・ラリーで雪の峠道を疾走するミニの写真です。その年、ミニはその機動力を武器に強豪を破って総合優勝。すっかり私はラリーに取りつかれてしまったんです。

憧れていた「モンテカルロ・ラリー」出場のチャンスを得たのは1976年、26歳のときでした。その後、モンテには7回出場することになったのですが、最後の参戦となった97年にはミニでの出場も果たしました。憧れが現実へ。なんだか絵に書いたような話ですが、訪れたチャンスを普通につかんだだけの気がします。

### 10年ぶりの再挑戦

参戦をやめてから10年以上の時間が過ぎた09年、「モンテカルロ・ラリー・ヒストリック」という大会に再び参戦しました。この選手権は、30年以上前にモンテを走



▲ レースに臨むドライバーの森川オサム

た車種のみに出場資格がある大会です。

日本で行われるヒストリックカーのイベントはパレードのようなものですが、ヒストリック・モンテは違います。通常の大会より過酷で長く、昔のコースが使われ、貴重な車種をみんな全開で走らせます。いつもながら、ヨーロッパのおじさん達の遊びに賭ける情熱はすごいものがあります。

そして今年、再びモンテに参戦しました。実を言うと、自分の中で「一昨年で打ち止め」という意識があり、当初は参戦に気乗りしなかったんです。でも、「日本で一番モンテを経験している私が断っているのか」という思いがこみ上げました。再チャレンジで、自分の「元氣」を確認したかったという気持ちもあります。

スコットランドのグラスゴウを

スタートしました。第1ステージは、山道ばかりを走ってモナコに到着するまで2晩徹夜での走行です。その後、第5ステージまで計3500キロを約1週間かけて疾走しました。参加した340台中、90台が途中リタイヤとなりました。アイスバーンの峠の全開走行でコースを飛び出した車も多く、過酷なレースになりました。

### 満足いく結果に

72年式のダットサン240Zに電気トラブルも起り、いろいろ苦労させられましたが、最後まで完走することができました。私の体も自分で思っていたより丈夫で、4キロほどダイエットできただけで元氣でした。合格です。

また来年、「元氣の確認を」なんて気が起こらなければいいんですが…。

## あなたの夢を強力サポート！ 新サービスが登場

思いを持っていて、叶うまで想い続けるのは結構しんどいもの。そのしんどさを、やる気に変えてくれる「ジャストギビング」という寄付仲介サイトです。夢や想いを多くの人と共有できる画期的なサイトとして、話題を呼んでいます。

参加は簡単。自分が描く夢をサイト内で宣言すると、その宣言に共感した人から賛同や応援をコメントや寄付の形で受けることができます。あらかじめ特定のNPO団体を指定

しておくと、寄付金はその団体に届くという仕組みです。これまで1000件以上の夢や目標が掲げられ、3000万円の寄付金を集めました。著名人も参加しており、モデルの道端ジェシカさんは、「初めてのトライアスロンで完走したい！」という夢を掲げました。これに

対し、世界中から100人以上の応援が集まり、寄付金は40万円以上。お金はすべて、道端さんが指定したUNHCR(国連国連難民高等弁務官事務

所)へ届けられました。サイト代表理事の湯本優さんは、「みんなから『頑張っ』とメッセージをもらうと、心細いときでも頑張れます。集まった寄付金は、誰かのために使われているのだと思うと、自分の目標もより濃いものになるのでは」と話しています。

みなさんも、夢を叶えるための一つの手段として利用がしやすいかと。

ジャスト・ギビング・ジャパン  
justgiving.jp/



オレンジ新聞元旦号で応募していた「あなたの想い」をきっちり代理で届けてきました！鳥根県のパワースポットとして知られる宍道湖の白ウサギ。



寄せられた想いの数だけ、シジミをお供えしておきました。ニコリ笑うオレンジ新聞編集長のトモくん。おちゃめにウサギジャンプまでしてしまいました。ちょっと調子に乗すぎ？



「想いは叶う」素敵な言葉です。でも叶った後も重要です。元巨人の清原選手は「巨人に入るのが夢だった」と言っていて、入団直後にスランプに遭遇したそうです。「想いが叶ったことで気持ちが一度終わってしまったのかも」と聞いたことも。淋しいですよ。だからボクは、叶うことを想像しながら叶った後にもどれだけ自分が楽しくなれるかを考えます。そうすれば、叶った後も充実した時間が過ごせそうです。

編集後記  
(株)オレンジ・アンド・パートナーズ編集部  
お便り・ご感想もお待ちしております。  
ご連絡先  
ex@orange-p.co.jp  
Webサイト  
www.orange-p.co.jp

今回は3月19日(土)に掲載します